

第3回小金井市保育検討協議会 意見・提案シート

提出日 平成27年8月4日(火)

意見・提案内容(全6件)

①

・公立保育園の職員も、自分たちの時間を使って自主研修にも出かけていると思います。

・体制が厳しいのは各園、公立、民間、認証、NPOなども同じだと思います、その中でどのように子どもたちのためにを考えている。そこを行政として考えていく努力はしてほしい。

・公立の職員の研修は、他市の人とも交流ができていますので情報共有ができていますと思う。

②

予算、体制に対してですが、限りあるのは分かりますが、多様なニーズへの対応という点に置いても福祉の視点からも子育てにはお金をかけて当然だと思います。

③

・公立保育園の職員も、時間内の研修だけでなく、時間外(休日や夜)の時間で、自費で行っている職員は沢山います。

・時間内で行けるとはいえ、出せる人数にはもちろん制限があるので行けない職員もいます。

・公立保育園としてめぐまれている部分はあるとは思いますが、私立園が私立園協会の独自の独自の研修があるように、公立保育園は公立独自の研修に参加しています。例えば、行政の一部として、公務員として公的福祉サービスについて学ぶこともありますし、他の自治体と交流し、情報交換ができるのも公立保育園でできるメリットだと思います。

④

民間の保育園の方、認証の保育所の方のお話は涙ぐましいものがありましたが、「子どもにしわ寄せがいかないように、保育に穴があかないように、自分の時間を使って

研修に参加している」ということは、公立保育園の職員もやっています。公立園でない園の方々のアピールや、プライドをつぶさないように、公立園の職員がアピールするには一体どうすればいいのでしょうか。歯痒いです。

⑤

民間園の方のお話は、なかなかきく機会もなく貴重でした。小金井市全体の保育を考えていくには、この先、もっと活発な交流を行い、共に高めあっていきたいと思えます。

⑥

予算や体制という点についてですが、子育てにはお金がかかるし、かけて当然なのだと思えます。

正月に休日保育をしている園があると話されていましたが、休日手当のようなものもない中、保育士は出勤している印象を受けました。

その保育士の家族はどうするんだろうと、ふと思ってしまいました。